

科目名称：	造形教材研究Ⅱ	
担当者名：	森田 ゆかり、太田 望	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 造形活動を通して自分自身の世界を広げ、自由に「表現」する楽しさを知る。</li> <li>・ 教材研究の面白さ、大切さを知る。</li> <li>・ 主体的・計画的に制作に取り組み、強い意志で期限までに作品を完成させる。</li> </ul> ※ 短大での学びの集大成として絵本制作に取り組み「卒業制作」とする。 (「成果発表会 その1 手づくり絵本展」で展示)		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な素材・用具・技法を応用して使うことができる。</li> <li>・ 日々の生活の中でも五感を磨き、豊かな感性や想像力を育てようとする。</li> <li>・ 感じたことや考えたことを、自分なりに自信を持って表現することができる。</li> <li>・ 調べ学習や研究、制作に対して主体的・計画的に取り組むことができる。</li> <li>・ 美術を通して「保育」の見方・考え方が広がり、造形活動（表現活動）の意義を理解できる。</li> </ul>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP (3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP (1)					0
幼児教育DP (2)					0
幼児教育DP (3)					0
幼児教育DP (4)			100	0	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 森田 アートスクール講師（2歳児～小学生の絵画・造形指導）	《経験年数1》 2年6か月
	《内容2》 森田 アートディレクター（こども対象のワークショップなど企画・実践）	《経験年数2》 4年10か月
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
主体的・計画的取り組み（絵本制作）	期待以上の主体的・計画的学修が見られ、期限までに絵本を提出できた。	主体的・計画的学修が見られ、期限までに絵本を提出できた。	主体的・計画的学修に努めたが、期限までに絵本を提出できない。	主体的・計画的に取り組めない。期限までに絵本を提出できない。
自分自身の世界の表現（絵本制作）	短大での学びの集大成として期待以上の自己表現ができた。	短大での学びの集大成として十分に自己表現ができた。	短大での学びの集大成として自己表現ができた。	短大での学びの集大成というには力不足であった。
自分自身の世界の表現（実践のまとめ）	絵本制作を通して感じたこと・考えたことを他者が納得できるように伝えることができた。	絵本制作を通して感じたこと・考えたことを他者に十分に伝えることができた。	絵本制作を通して感じたこと・考えたことを他者に伝えることができた。	絵本制作を通して感じたこと・考えたことが他者に伝わらない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 絵本制作① つくりたい絵本をイメージする、DVD『絵本作家ブルーナ 幸せを運ぶ絵本』	『実践のまとめ』バックナンバーなどを参考に調べ学習。	30分～
第2回 絵本制作② 私がつくりたい絵本の構想（電子黒板使用）	『実践のまとめ』バックナンバーなどを参考に調べ学習。	30分～
第3回 絵本制作③ 絵本の研究	つくりたい絵本の参考になる絵本を5冊以上選んでおく。	30分～
第4回 絵本制作④ 私がつくりたい絵本の具体的構想（アイデアスケッチ）、行動計画	具体的構想ができるように資料を整理しておく。	20分
第5回 絵本制作の材料・技法研究①（プロジェクト活動）	どのような材料・技法について研究したいか考えておく。	15分
第6回 絵本制作の材料・技法研究②（プロジェクト活動）	まとめができるように記録、写真、資料、試作品、見本などを整理しておく。	20分
第7回 絵本制作⑤	各自主体的・計画的に課題を進める。	60分～
第8回 絵本制作⑥	各自主体的・計画的に課題を進める。	60分～
第9回 絵本制作⑦	各自主体的・計画的に課題を進める。	60分～
第10回 教材研究 藍染め	藍染めに関する調べ学習。	15分
第11回 絵本制作⑧	各自主体的・計画的に課題を進める。	120分～
第12回 絵本提出、絵本制作の振り返り・まとめ① 『実践のまとめ 第15号』絵本個人ページ原稿作成	期限までに絵本を完成させる。	120分～
第13回 絵本制作⑩ 鑑賞・プレゼンテーション	プレゼンテーションができるように準備しておく。	15分
第14回 絵本制作の振り返り・まとめ② 『実践のまとめ 第15号』絵本個人ページ原稿校正	『実践のまとめ 第15号』絵本個人ページ原稿を見て、訂正しておく。	15分
第15回 絵本の展示	展示準備・片付けの役割分担について話し合い決めておく。	20分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
卒業制作（絵本）70%、実践のまとめ30%

#### 課題に対するフィードバック

提出されるワークシートには全て担当者が目を通し、返却する際、ワークシートの記述内容に即してプリントなどで補足しながら振り返りを行う。絵本制作については個別にフィードバックする。

#### 教科書・参考書

教科書：『美育文化ポケット 第21号～第24号』 公益財団法人美育文化協会、  
参考書：『実践のまとめ』バックナンバー、必要に応じてプリントを配付